

令和2年度
大館カトリックこども園自己評価

基本理念

「大館カトリックこども園」はキリスト教的世界観を基礎にして、宗教心を育み、自然の恵みに感謝して、環境を大切にする心世界平和の為のよりよい社会の建設を志す心を、子ども達の中に培うことを願っています

園の目標

信・望・愛

- 感謝の心をもつ子ども
- きれいな心をもつ子ども
- 生きる力をもつ子ども

評価 1. よくできている 2. まずできている
3. あまりできていない 4. できていない
(3満才以上児職員9名 満3才未満児職員7名)

1	2	3	4	5
よくできている	まずできている	あまりできていない	できていない	無回答
19%	69%	12%	0%	0%

1, 教育、保育理念の理解

・園の教育理念・方針・保育目標を理解している

[意見・改善点]

こども園がスタートし5年目の令和2年度であったが、園の教育理念・方針・目標への理解は年々できてきているのを表した数値が出ている。

2, 教育・保育の計画 ・指導について

・年間目標を理解し、実践している	13	63	18	0	6
・園児への個々に応じた指導・関わりを適切に行っている。	6	88	0	0	6
・職員間のチームワークや連絡体制などができている。	13	56	31	0	0
・指導計画を作成したり活動する際、子どもの発達を考慮し、子どもの したいことや、興味のあることを取り入れている。	6	81	0	0	13
・研修・研究への意欲、態度は適切である。	6	57	31	0	6
・その場にふさわしい言葉づかいをし、すべての子どもに平等に接している。	19	75	6	0	0
・家庭での様子や発達の個人差を考慮し、子どもの思いを大切にして、援助を 工夫している。	13	75	0	0	12
・遊びを通してルールを学んだり、子どもたちが主体的に楽しく行動できる ようにしている。	0	75	6	0	19
<p>〔意見・改善点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間、月、週…計画はたてるが日々の保育に結びつけることができなかった。（大きな行事は結び ついたりつながりがある）一人一人がもっと身近に手に取り、見て保育を立てられるものに しなければいけない。 ・園庭の工夫ができれば良いと思う。 <p>◎子ども達一人一人に寄り添った保育は、職員皆心がけており、その点の項目は「できている」 「まずできている」が高い数値で出ている。この点は評価したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員間のチームワーク、連絡体制 ・研修、研究への意欲への評価は低く、この点に力を 入れていかなければならない。 					

3 ・環境構成 安全の配慮

・安心、安全を第一に考えて環境整備をしたり、園児自身が安全に気をつけて 行動できるように援助している。	13	69	13	0	5
・子ども達の思いや言動をくみ取りながら、クラスの装飾や展示を考えている	19	56	13	0	12
・アレルギー児や体調不良児への対応についてのルールを把握し、十分に 配慮して行っている。	6	82	6	0	6
・園内に危険個所がないか、危険な遊び方はないか、活動が年齢や能力に対し 危険ではないかを常に配慮している	6	82	6	0	6
・緊急時（事故、感染症発生等）の対応が適切にできている。	0	81	13	0	6
<p>〔意見・改善点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気づいてすぐ行動できず、後手にまわってしまったので、<u>危険と感じたらすぐ行動に移していきたい。</u> <p>◎環境構成、安全面への配慮は近年、職員間で意識が高まっている。この点は評価してよいと思われる。 令和2年度はコロナウィルス対応が大きな課題となっていた為、特にそのような数値が出ていたと 思われる。引き続き気を引き締めて対応していきたい。</p>					

4. 指導と関わり

・一人一人の発達の個人差、集団経験年数の差、家庭環境などをふまえて対応をしている	19	69	0	0	12
・一人一人の子ども達の思いを把握し、寄り添いながら関わっている	25	63	0	0	12
・行事の指導にあたっては、こども園の生活の自然な流れの中で生活に変化や潤いを与え、子ども達が主体的に楽しく活動できるようにしている	6	63	19	0	12
・小学校との円滑な接続に向けた活動内容の工夫を図ると共に、交流の機会や教員同士の意見交換の場をもっている	6	31	44	6	13
・保護者と子ども達が共に活動できる機会を設け、保護者の乳幼児に対する理解、園生活に対する理解が深まるように配慮している	0	68	6	13	13
・子ども達の園での様子を送迎時に直接話したり、連絡帳で知らせるなど丁寧な対応を心がけ、家庭と園側の相互理解を図っている	19	69	0	0	12
<p>〔意見・改善点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で機会が少なかったが、工夫してこのような場、機会が持てるようにしていきたい。 ・職員の意識統一。 <p>◎設問4の小学校との連携についてが、課題であることがはっきりとした数値に現れた。 コロナ禍の中であり、実際の活動に関しては難しい点もあったが、状況が改善した時にすぐに動き出せるように、「アプローチカリキュラム」の作成などに力を入れていきたい。</p>					

5. 保護者支援

・保護者への情報発信を適切に行っている。	13	50	37	0	0
・園生活の中で保護者からの悩みや、相談を受け止め、育児に対する必要な情報の提供や助言を行っている。	0	94	6	0	0
・園で行っている「子育て支援活動」を理解し、様々な方法で広報に努めたり情報の提供や助言を行っている。	38	50	13	0	0
<p>〔意見・改善点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう少し日々の保育、週の保育…可視化することが不足であった。職員皆が子育て支援活動に対して共通理解が足りなかった。 <p>◎情報発信の面に力を入れていかなければならないという数字が高かった。 時代の要求を取り入れ、目に見える、わかりやすい、情報を提供していきたい。（HPの活用、連絡網の活用等）</p>					

6. 職員としての心構え

・就業規則などの諸規則を理解し、遅刻や保育中の私語などないように十分に気を付け、誠意をもって業務遂行にあたっている。	19	69	12	0	0
・健康面など自己管理に気をつけている。	25	63	12	0	0
・挨拶、電話対応等、外部への対応は適切に行っている。	31	69	0	0	0
・子ども達のことについて常に職員間で話し合いを持ち、共通理解を持って対応するようにしている。	13	74	13	0	0
<p>〔意見・改善点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ努力が必要である。 ◎職員一人一人の意識に差があることを感じる。「就業規則」の読みこみ等、読み合わせをする事が必要ではないか。 ◎子どもについての職員の話し合い、共通理解が高い数値となったのは収穫である。職員会議のあり方を変えたことに成果があったと思われる。 					